

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	柿木原榮一議員	50分	1 中学1年、2年生の保健体育授業での武道必修化について	<p>(1) 4月から必修化される武道のなかの柔道で、事故の心配があるが、伊佐教育委員会の現在の対応はどうか。</p> <p>(2) 必修の柔道の授業内容はどこまでか。</p> <p>(3) 体育館・武道館の使用できる現状について、対応が可能か。</p> <p>(4) 使用される畳等の確保及び壁等にソフトマットの設置はできているのか。</p> <p>(5) 医学知識や柔道経験が豊富な指導者の育成が間に合うのか。</p> <p>(6) 伊佐市教育委員会として保体の先生方に柔道の高有段者等の独自の研修は考えられないのか。</p> <p>(7) 伊佐市として柔道事故が起きた場合、全容を把握する仕組みはどうなっているのか。提案されている伊佐市スポーツ推進審議会条例第2条(6)スポーツ事故の防止に関することや第3者による事故調査委員会等また、県教育委員会との連絡・対応はどのように行われていくのか。</p>	教 育 長	
			2 菱刈鉦山の最古の細菌について	<p>(1) 南日本新聞で報じられた「菱刈鉦山に最古の細菌」の情報について、どの程度把握しているか。</p> <p>(2) 2012年1月18日米誌で、独立行政法人海洋研究開発機構が、初期生命の姿の解明にまた一步近づいたと発表されたが、独立行政法人と伊佐市は連絡やつながりなど、どのようになっているのか。</p> <p>(3) 細胞内に核を持たない生物でバクテリアと古細菌の初期生命解明に、伊佐市としての関与は考えられないのか。</p>	市 長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	市来 弘行議員	40分	1 伊佐市の「明日」と、今、急ぐべき政策課題	<p>新年度に向けての施政方針が市長より提示された。伊佐市の「明日」を確かなものとするための方策は、確かな足取りとなって進められているのであろうか。以下の諸点について、その見解をお聞きし、また政策についての提案もしてみたい。</p> <p>(1) 九州新幹線全線開通による人の流れの変化や、新曾木大橋等の完成により、私達地域を取り巻く環境は、今、大きな変化を見せ始めている。私共が早急に取り組むべき課題は何なのか。地域産業振興に向けての具体的な戦略を練り直し、実行に移すべき時と考える。市長は現在進めている施策で十分であると考えておられるのか。</p> <p>(2) 「何が」今後の伊佐市発展・地域振興にとってのキーポイントと、考えておられるのか。</p> <p>(3) 「取り残された伊佐地域」とならないための方策について。</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	諏訪 信一議員	20分	<p>1 中学校の武道必修化</p> <p>2 図書整備</p> <p>3 食の安全</p>	<p>平成24年度から中学校における武道の必修化が義務づけられたそこで、次のことを伺いたい。</p> <p>(1) 安全対策（事故等）について、指導者は確保されているのか。</p> <p>(2) 武道具の購入について、親の負担及び扶助世帯への援助はどうなっているのか。</p> <p>(3) 武道場は確保されているのか。</p> <p>(4) 衛生的な配慮は、大丈夫か。</p> <p>学校図書館への新聞配備及び学校図書館担当職員の配置に要する経費について、交付税措置がなされたと思うが、</p> <p>(1) 司書職員の配置の現状はどうなっているか。</p> <p>(2) 予算措置について。</p> <p>(3) 小規模校への配置。</p> <p>(4) 新聞を活用した教育はなされているか。</p> <p>福島第一原発事故による放射能物質の飛散は、食品などの安全性に深刻な影響を与えている。当市の給食センターでは、地元の食材を利用して、1日2,500食余りを園児や子どもたちに配給しているが、安全性について伺う。</p> <p>(1) 放射線量の検査はなされているか。</p> <p>(2) 測定器具は設置されているか。</p>	教育長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	植松尚志郎議員	20分	1 小水力発電について	<p>(1) 鹿児島は、九州新幹線の全線開通や、中国、韓国等からの観光客が増えている。これを伊佐市へ来るようにするために努力すべきである。</p> <p>(2) 平成25年度に曾木の滝小水力発電が完成するが、国民は原発に非常に危機感をもっているだけに、小水力発電や太陽熱利用に期待している。伊佐市はほかにも適地があり、今後も増やしていくことが、研修をかねた観光客などを増やせると考えるが、市長の考えを伺う。</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	今吉 光一議員	20分	<p>1 森林経営計画の方向性と本市の取り組み、対応</p> <p>2 間伐紙の普及に向けた本市の取り組み</p>	<p>昨年9月の定例会でこれまでの施業計画から経営計画に移行することにより、国から大まかな方針しか示されておらず、森林組合や事業体は日々困惑しながら現在に至っている。いよいよ今年4月から施行されることになっているが、いまだに具体的な指示はないようである。</p> <p>林班ごとの50%以上を森林所有者と契約を締結し、5年もしくは10年以内に間伐された木材を搬出すること、作業路新設もしなければならぬこと等を条件とすれば、要件を満たさない森林に対して0査定となるものが多くなり、管理不十分という結果が下流域で生活を営む市民の生命と財産に脅威を与えかねない。</p> <p>一方で京都議定書にあるCO2削減目標の達成もできないことが明らかであり、国民のみならず身近な市民にとっても重要な問題であるが、現時点での状況はどうか。</p> <p>平成20年5月に九州7県知事と九州森林管理局長が協力して間伐紙の利用を推進宣言し、平成22年10月には国と地方公共団体において紙等の製品を含む木材利用の促進を図る法律が施行され、この売り上げの一部が山元に還元され、間伐材の有効利用と地球温暖化防止への貢献が期待されている。</p> <p>これらの製品は購入金額が多少割高になるものの、「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」と合わせて、本市においても一部利用からということで検討できないか。</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>3 犯罪や非行歴のある人の更生支援策</p> <p>4 市道植樹帯を市民主導型の委託管理にすることの提案</p>	<p>本市には保護観察者があり、法務大臣から委嘱を受けた保護司が29人いる。 日常の活動は定例研修会や自主研修会に参加し、それぞれの立場で活躍されている。 平成23年7月時点で、岩手、宮城、山形、兵庫の4県が優遇措置を導入。栃木、山形県酒田市、広島市は入札の総合評価で加点している。 都城市においても2012年度より市発注の公共事業の入札で更生を目指す人を雇用すると、業者が有利になる評価制度を導入する。 犯罪や非行歴のある人が社会復帰しても働く場がなかったり、周りの人から差別的な扱いを受けたりして再犯の可能性が高くなっている。 厳しい雇用情勢の中ではあるが、県内にも協力雇用主があり、全国では約10,000社が登録しているが、本市においても更生支援ができないものか。</p> <p>伊佐市が管理する市道路線の中で、植樹帯が設置されているのが4カ所あるが、所によっては山茶花等が枯れ、マカヤに占領されているところもあり、一時期を除いては殺風景な感じもする。 長島町へ通じる国道389号の植樹帯はブロックごとに企業や組織・団体に管理委託されており、四季を通じ海を臨む景色と合わせて通る人たちの心を和ませてもらえる。 この成果として毎年の観光客が増加しているとも聞くが、このような取り組みを本市でも採用することで、同じような効果が期待でき、また共助の精神からもこれからのまち作りに一石を投じることができるのではないかと考えるが見解を問う。</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	鶴田 公紀議員	40分	<p>1 伊佐市消防団員の報酬額について</p> <p>2 中学校の問題行動について</p> <p>3 道路整備について</p>	<p>(1) 第1分団から第10分団までと、第11分団から第17分団までの報酬額に差があるのはなぜか、具体的な理由を示せ。</p> <p>(1) 具体的事例はどのようなものか。</p> <p>(1) 市道八坂井手原線の変則四差路の改修は。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	久保 教仁議員	25分	1 学校給食について	<p>(1) 給食センターが稼動して1年目を迎える。従前、自校式であった旧菱刈町の小中学校で、給食残渣が多いと聞く。市内の小中学校の給食喫食率はどうなっているか。</p> <p>(2) 給食残渣はどの様に処理されているか。</p> <p>(3) 学校給食に生産物を仕向けることで、地域農業を振興させる一助になると考えるが、前年度と比して地場産食材はどの程度使われているか。</p> <p>(4) 学校給食における地場産食材いわゆる地産地消の推進に、伊佐市としてどのように取り組んでいるか。</p> <p>(5) 学校給食と生産物の商品化や流通手段を持たない小規模農家を連携させ、農家の所得向上に寄与すべきだ。小規模農家支援策として、小規模ハウスの助成は考えられないか。</p>	市長 教育長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	岩元 克頼議員	20分	1 十曾青少年旅行村の施設の改善について	<p>(1) 十曾青少年旅行村の管理棟内にあるトイレは、いまだに汲取り式を使っているが、改善の余地はないか。</p> <p>(2) 屋根の雨漏りなどペンキを塗って防水をしていると聞く。何とかならないか。</p> <p>(3) 入村者のなかから、プールを使わしてもらいたいとの強い要望があると聞くが、このままで良いか。</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	松元正議員	30分	「絆」みんなはひとりのために、ひとはみんなのために	<p>1 南三陸町への職員派遣について</p> <p>2 針持小学校プール等の整備にかんがみて</p> <p>3 曾木の滝公園駐車場新設工事について</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	福本千枝子議員	40分	1 伊佐市のまちづくりについて	<p>合併4年目に入り、人口減少を続ける本市は国・県より高い少子高齢化率である。今後のまちづくり計画について市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 農林業の葉たばこ生産からの転作物、米の販売、たけのこ生産と加工について。</p> <p>(2) 大型店舗が進出する中、商店街の活性化をどうするのか。</p> <p>(3) 人口増のための企業誘致や定住促進についての施策は。</p> <p>(4) 交流人口を増やすため、曾木の滝周辺の整備、湯之尾温泉街の活性化について。</p> <p>(5) 高齢者対策について。</p> <p>(6) 市民の健康づくりについて(特定健診で早期発見)</p> <p>(7) 未来を担う子ども達の体力向上について(県下一周駅伝選手や次期国体選手の育成)</p> <p>(8) 校区コミュニティ協議会の活性化について</p>	市長 教育長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	古城 恵人議員	40分	<p>1 当初予算復活ヒアリングの公開について</p> <p>2 伊佐市中学校再編成をめぐる説明会のあり方について</p> <p>3 農業委員会に対する諮問について</p>	<p>南日本新聞発表によると、平成24年度当初予算編成の復活ヒアリングを公開し、結果は議員3人、ほか1人の傍聴に過ぎなかったとのことである。</p> <p>(1) 予算編成という内部事務の公開の目的は何か。</p> <p>(2) 市民の参加はなかったという結果をどう受け止めているのか。</p> <p>(3) 議会に事前に報告する考えはなかったのか。</p> <p>市内中学校の再編成について、昨年10月以降、各小学校単位で市民への説明、保護者との意見交換会がなされたが、再編成協議会の決定事項の一方的報告と説明会に終始し、保護者の立場からの質疑や不安に対しては、「市議会での議決後、再編成準備委員会で対応する」として、批判と不満の声が高い。これまでの進め方と教育委員会、市長の考え方を明らかにされたい。</p> <p>本市の基幹産業である農業の更なる振興の具体策と農業従事者のあり方について、農業委員会等に関する法律第6条第3項の規定により、農業委員会に諮問する考えはないか。</p>	<p>市長</p> <p>教育委員長 市長</p> <p>市長</p>	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	左近充 議員	20分	<p>1 ドクターヘリについて</p> <p>2 市有地売却について</p>	<p>(1) 今までの搬送数は。</p> <p>(2) 搬送時間は。</p> <p>(3) 市の負担額は。</p> <p>(4) 伊佐市ランデブーポイントは。</p> <p>(5) 隣接県への搬送はできないか。</p> <p>(1) 住宅建築できる箇所はどのくらいあるか。</p> <p>(2) すぐに建築する方へ、安価に販売できないか。</p>	市長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	畑中 香子議員	40分	1 中学校再編成について	<p>(1) これまでの説明会を通じて、保護者や地域住民の理解は得られたと考えるか。</p> <p>(2) 国民の権利として、すべての子どもに「平等に教育を受ける権利」があるが、統廃合にかかわる子どもたちにも意見を聞くべきではないか。</p> <p>(3) 国の指針によると、地域住民の理解が得られなければ学校の統廃合はできないこととなっているが、このままでは住民の反対意見を無視して統廃合を押し付けることにならないか。</p>	教 育 長	
			2 遅れている子ども医療費の助成について	<p>(1) 子どもの病気の早期発見につながる医療費助成を拡充すべきではないか。</p>	市 長	
			3 職員採用について	<p>(1) 職員採用時の募集条件に基準があるか。</p> <p>(2) 募集要項はどのように検討され、決定するのか。</p> <p>(3) 平成21年度専門職員募集時の採用年齢が引き上げられていた理由は。</p>		

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	森山 善友議員	20分	1 伊佐市小・中学校の教育方針について	<p>(1) 伊佐市としての小学校1クラスの児童数、1学年のクラス数はどのくらいが最適と思われるか、また中学校はどうか。</p> <p>(2) 伊佐市は小規模の小学校が多いが小学校の再編は考えていないか。</p> <p>(3) 小学校の課外活動でスポーツや文科系、また塾に通っているのはどのくらいか。</p> <p>(4) 小規模校の小学校での学力は平均的に上位にあるが、中学生になると平均を下回ると聞くが実情はどうか。</p> <p>(5) 中学校再編成については、未だに説明不足との声が地区によってはあるがどう思うか。</p> <p>(6) 中学校再編成協議会で十分に話し合いがなされ、最終的な結論が出されたと思う。次の準備委員会の仕事内容と学校間交流について伺いたい。</p> <p>(7) 27年度再編成は時間的に無理ではなかったか。</p>	教育長	

平成24年第1回定例会一般質問

平成24年3月14日・15日・16日

(16枚のうち16枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	中村 周二議員	30分	まちづくり政策	まちづくり公社などで、まちの活成化をやっているところがある。伊佐市の外郭団体として「NPO法人伊佐の町プロジェクト」を作り、各団体をより強くすることや、人材育成をする考えはないか。伊佐市の基金もだんだん少なくなっていく。この組織を作ると、自分たちで資金も稼げるようになると思うが。	市 長	